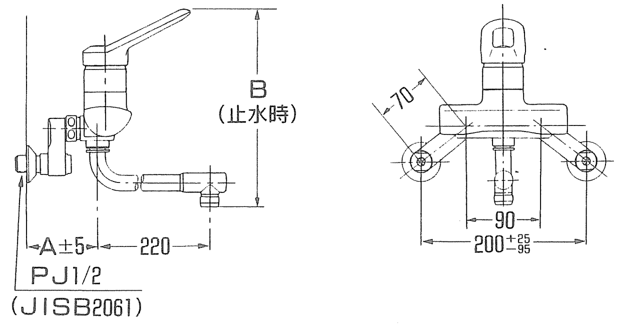
TOTO

シングルレバー混合栓

製品の機能が十分発揮されるように、

完　成　図

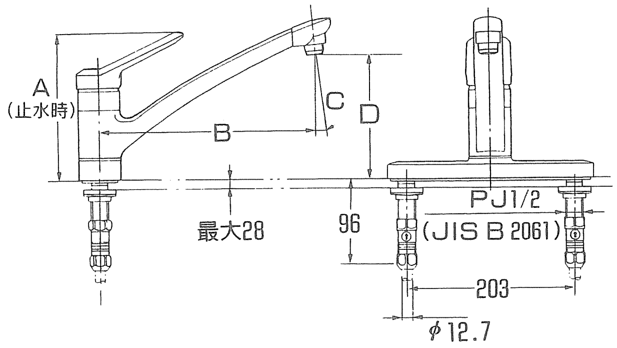
TKF30U型，TKJ30U型，TKJ30UG型，TKG30U型，TKG30UB型



A寸法	TKF30U型	85
	TKJ30U型	75
	TKJ30UG型	
	TKG30U型	
	TKG30UB型	

B寸法	TKF30U型	236
	TKJ30U型	193
	TKJ30UG型	233
	TKG30U型	202
	TKG30UB型	219

TKF33U型，TKJ33U型，TKJ33UG型，TKG33U型



A寸法	TKF33U型	177
	TKJ33U型	195
	TKJ33UG型	201
	TKG33U型	199

B寸法	TKF33U型	260
	TKJ33U型	240
	TKJ33UG型	
	TKG33U型	247

C寸法	TKF33U型	5°
	TKJ33U型	10°
	TKJ33UG型	
	TKG33U型	

D寸法	TKF33U型	150
	TKJ33U型	168
	TKJ33UG型	
	TKG33U型	175

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

⑵貯湯式温水器と組合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.05MPa / 最高圧力………0.75MPa }

⑶給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

2.給湯に蒸気を使用しないでください。

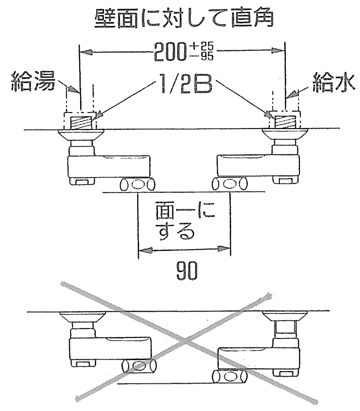
3.湯・水を逆配管しないでください。
なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

4.水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途、止水栓をご用意ください。
（TKF33U型，TKJ33U型，TKJ33UG型，TKG33U型）

器　具　の　取　付　け

1.給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

2.止水栓の取付け（TKF30U型, TKJ30U型, TKJ30UG型, TKG30U型, TKG30UB型の場合）



使　用　条　件

1.使用水圧

(1)瞬間型給湯機と組合わせる場合

給水圧力 { 最低必要水圧……(表参照)
　　　　　 最高水圧…………0.75MPa

〈設定条件〉

- レバーハンドルは全開
- 吐水温度：38℃
- 給湯配管長さ：５m
- 給湯機が着火する下限の圧力とする
- 水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定
- 能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定
- 比例制御タイプの出湯温度60℃

※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

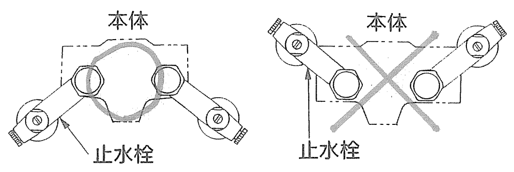
器具入口部における最低必要水圧（MPa）

給湯機タイプと号数			最低必要水圧
能力手動切替タイプ		12号	A+0.38(A+0.4)
比例制御タイプ	TOTO カスタム 制御方式	10号	0.08 (0.1)
		16号	
		20号	
	TOTO トリコン 制御方式 (トリコン ・コンタクト ・アクティ)	16号	0.06 (0.07)
		20号	
		24号	
		アクティ	
		スーパーアクティ	
		32号	
	TOTOハイトリコン 制御方式	21号	
		24号	
	TOTO コマンド	16号	
		24号	
	TOTO ハイコマンド	21号	
		24号	

注)(　　)内はTKG30UB型。

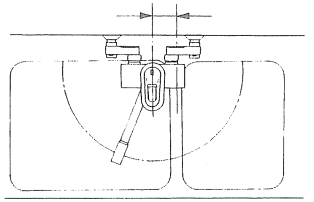
注）表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。
　（比例制御タイプにはこの数値が含まれています。）

※寒冷地用TKF30U型，TKJ30U型，TKJ30UG型，TKG30U型，TKG30UB型の場合は止水栓の取付位置が本体よりも上になると、水抜きができませんので必ず下になるように取付けてください。



※取付位置

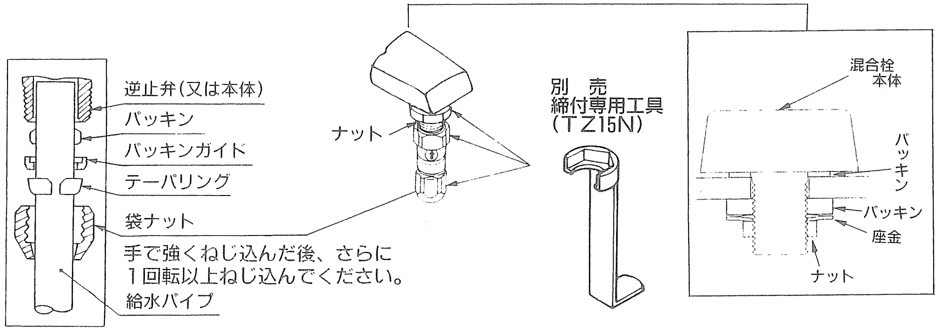
- 混合栓は流しが一槽式の場合は槽の中央に取付けてください。
- ２槽式の場合は右図のように２槽の中央より約80㎜大槽側に寄せるとより使いやすくなります。



3.混合栓本体の取付け

(1)TKF30U型,TKJ30U型,TKJ30UG型,
　TKG30U型，TKG30UB型
　混合栓本体を止水栓に押しつけ、袋ナットで取付けてください。

(2)TKF33U型，TKJ33U型，TKJ33UG型，TKG33U型
　混合栓を固定するときは、取付穴周囲の汚れをとり別売のナット締付専用工具(TZ15N)を利用して確実に締めてください。



※差込み給水・給湯パイプに袋ナットを入れ、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順番・向きをまちがえないように接続してください。

施工説明書

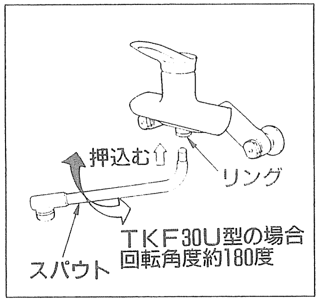
この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

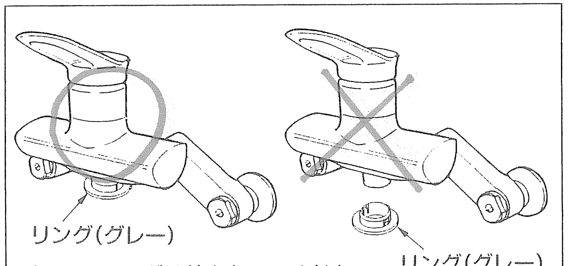
4.スパウトの取付け（TKF30U型の場合）

同梱されたスパウトを下図のように押込み取付けてください。この時、吐水口キャップを手前にして取付けてください。後向きに取付けると、ストッパーがあるため、吐水口が手前に向きません。

万一、間違って取付けた場合は、スパウト取付部のグレーのリングを上に押し上げながら、スパウトを取り外してください。

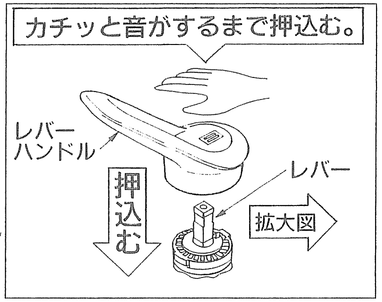
※スパウトは押込むだけで取付けが可能です。





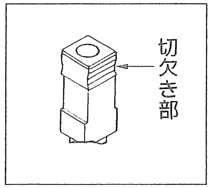
グレーのリングは外さないでください。

レバーハンドルの取付要領



このレバーハンドルは、ワンタッチで取付けることができます。

ご注意



レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向性に注意してください。正面からみてレバーの切欠きは、両サイドにあります。

万一方向を間違えて取付けた時は、レバーハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押込んでください。

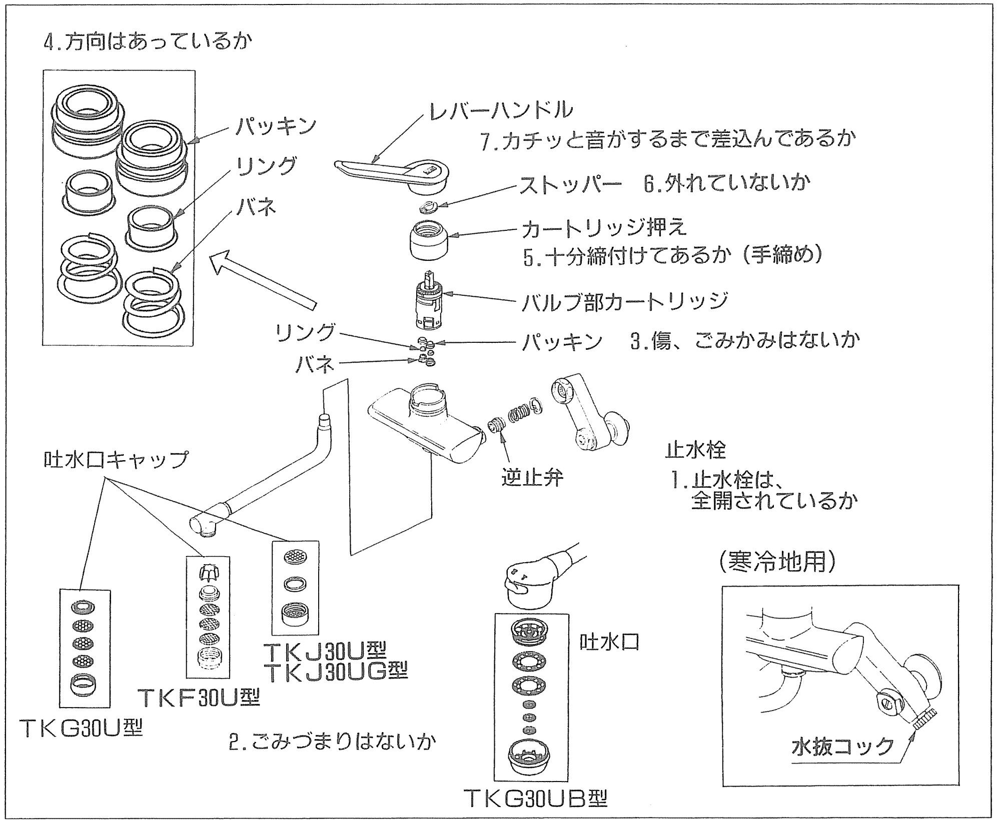
分　解　と　点　検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

現　　象	点検項目
吐水量が少ない。	1、2
水が止まらない。	3、4、5、6
吐水温度不良。	1、2
ハンドルがガタつく。	7



最後に、レバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

使　用　上　の　注　意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。
レバーハンドルを早く操作しようとすると、抵抗感が発生し重く感じることがありますが故障ではありません。
万一、レバーハンドルがロックして水が止まらなくなった場合は、一度全開にして再度ゆっくり閉めて下さい。

寒冷地用水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

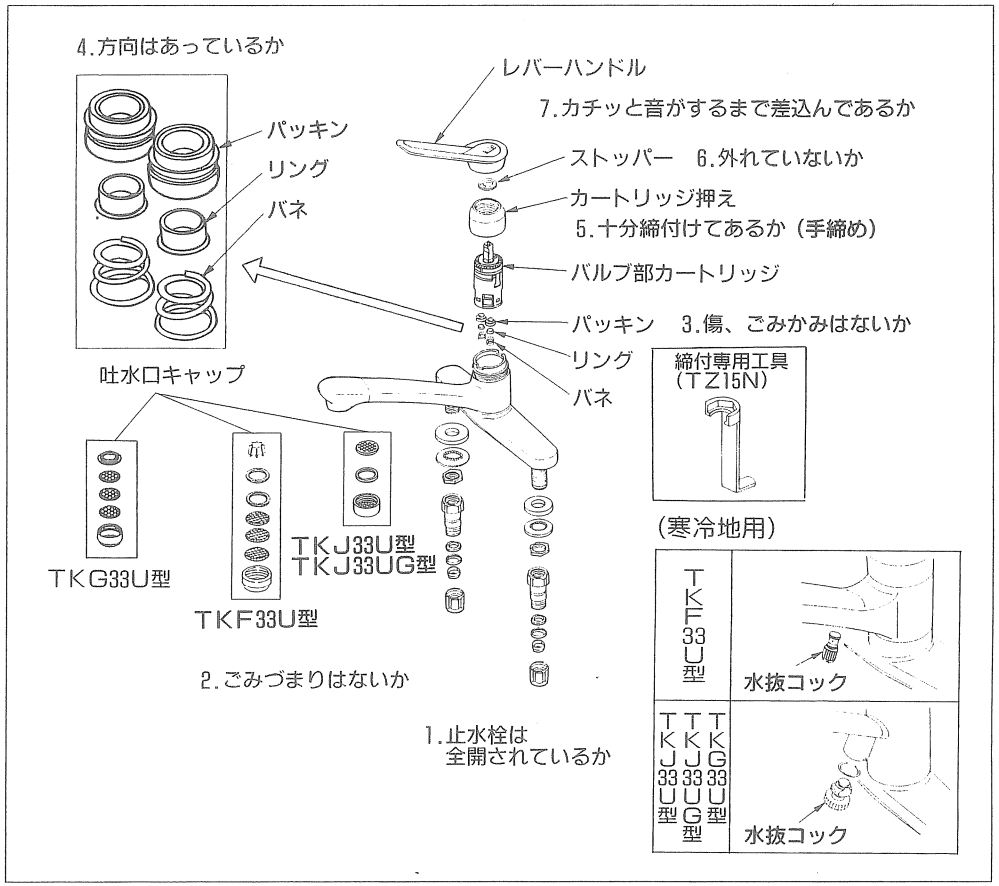
〈水抜手順〉

(1)レバーハンドルを中央位置(湯側・水側の中間)で上げてください。
(2)水抜コックを開いてください。
(3)水抜き後は、必ず水抜コックを強く締めてください。

お　手　入　れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

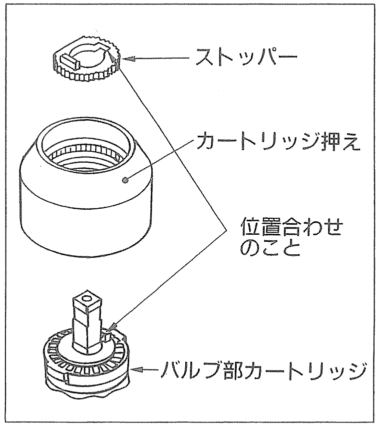
1. ふだんは柔らかな布でふき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふいてください。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意してください。
2. 汚れがひどいときには、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で、ふきとった後、水洗いしてください。
3. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。
4. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。



※品番によっては、図と現品の形状が異なることがあります。

点検時の注意

カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、工具は使用しないでください。再セットされる際に、ストッパーを組込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押込んでください。
その際カートリッジ押えの内側の歯と、ストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にて歯を合わせる様に調整してください。



再生紙を使用しています。
※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。